

吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会議事録

日 時 平成 29 年 11 月 29 日（水）午後 7 時から午後 9 時まで

会 場 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館 4 階 多目的会議室

1 協議会次第

(1) 開会

館長の挨拶

(2) 議事

1 吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館事業報告（4 月～9 月）

2 各委員会からの報告及び意見交換について

3 その他

4 次回開催日について

(3) 閉会

2 出席委員（14 人）

若槻委員・上茶谷委員・今田委員・菊池委員・入江委員・坂井委員
奥野委員・安田委員・神戸委員・大川委員・堺委員・杉本委員
宮委員・牧瀬委員

3 事務局出席者（6 人）

山本 智也 （子育て青少年拠点夢つながり未来館館長）
前田 隆男 （子育て青少年拠点夢つながり未来館副館長）
西佛 順慈 （青少年活動サポートプラザ主査）
田中 友梨 （青少年活動サポートプラザ主任）
飯田 千浩 （のびのび子育てプラザ係員）
三和 佳恵 （山田駅前図書館館長代理）

4 議事進行表

(1) 開会

(事務局)

本日は、お忙しい中お集まりいただき、お礼申し上げます。ただいまより吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会を開催させていただきます。

それでは、まずはじめに事務局よりご挨拶をさせていただきます。

(事務局)

— 事務局挨拶 —

(事務局)

ありがとうございました。

それでは、これより会長、議事進行を宜しくお願い致します。

(会長)

それでは議事を進めさせていただきますので、委員の皆様よろしく申し上げます。

まず事務局より本日の資料確認をお願いします。

(事務局)

— 資料確認 —

(会長)

それでは、議事1「吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館事業報告」について事務局より宜しく申し上げます。

(事務局)

それでは、4月から9月の事業報告をさせていただきます。

ここでは、まずゆいぴあ全体の利用状況を見ていただいたのちに、各所管から事業報告をさせていただきます。

まず事前に配付しております資料1をご覧ください。

この資料は4月から9月のゆいぴあ全体の利用状況を所管ごとにまとめたもので、上から、青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザ、山田駅前図書館の順で記載しております。

また、昨年度の4月から9月までの利用状況も併せて記載しております。

ではまず、青少年活動サポートプラザにつきましては、①貸室利用についてですが、右端に合計を記載しておりますが、利用件数、利用者数ともに若干減少しております。また、その下②学習室などの貸室外につきましても、同様に減少している状況です。詳細につきましては、サポートプラザの事業報告の際にさせていただきます。

その下③の子供、若者相談事業につきましては、今年3月の子ども・若者支援地域協議会設置以降、

相談件数が増えておりまして、表の一番左ですが、今年度支援した相談ケースは既に終結しているケースも含め195ケースと昨年の176ケースから約20ケース程増加している状況です。

次にのびのび子育てプラザの利用状況では、表の左端の個人利用者数が約800人増加しており、全体の総数としても増加している状況です。

最後に山田駅前図書館ですが、左端の貸出点数は昨年と比べ増加している状況です。また図書館のゲートを通過した利用者は約12万7千人おられました。

簡単ですが、以上が施設全体の利用状況になります。

続きまして、青少年活動サポートプラザの事業報告をさせていただきます。

資料をご覧ください。

施設管理事業ですが先ほど貸室の利用状況が減少しているとお説明させていただきましたが、その主な要因といたしましては、今年8月、9月に発生しました台風の影響により、暴風警報が発令され、臨時閉館になった日が2日ございました。また毎年、全館を使用して2日間開催する「すいた英語キッズ」が、今年度は開催日数が1日に縮小されたことが挙げられます。

利用状況は若干ではございますが減少しておりますが、利用者サービスの向上という観点からいくつか新たな取り組みを実施しております。まず貸室のホームページのレイアウトを見直し、インフォメーション覧を作ることで、臨時閉館などの情報を見てもらいやすくしました。また今まで1階のエントランスロビーに当日の貸室状況を掲示しておりましたが、地下1階の駐車場利用者にもわかりやすくするため、地下1階にも同様の掲示板を設置しました。

このように、アンケートや利用者懇談会を通じて、利用者からいただいた意見をもとに、可能なものから改善をしているところでございます。

次に施設運営事業ですが、前回の運営協議会でも報告させていただいたとおり、今年8月に青少年交流活動支援業務の委託事業者が新たに一般財団法人大阪市青少年活動協会に変わりました。

資料では開催した事業を一覧で記載しております。8月以降開催したものが、新たな事業者が実施したものになります。

窓口のスタッフも新たに変わりましたので、まずは今までの利用者と自然に関われるよう、出会いのきっかけ作りを中心に事業を行いました。徐々に利用者とも打ち解け、関係を築いていく中で、今後は、より利用者の思いやニーズに沿って、青少年同士の輪を広げるなど段階に応じた事業を展開していく予定です。

次に3ページの子供、若者相談事業ですが、この事業はひきこもりやニート、いじめ、虐待など様々な課題を抱える39歳までの青少年を支援する事業ですが、先ほども触れましたとおり、子ども・若者支援地域協議会設置以降、相談件数が伸びている状況です。

新規相談ケース数はこの9月末時点で98ケースと昨年度と比較し、35ケース増えました。また相談ケース数も9月末現在で131ケースと今年4月当初の97ケースから増加している状況です。

また、面接相談による支援だけでなく、3ページ、4ページに記載しておりますとおり、各種講座やグループワークを通し、課題を抱える青少年の状況に応じた支援をしております。

吹田市子ども若者支援地域協議会につきましては、6月1日に代表者会議、実務者会議を行いました。初めての開催ということもあり、各関係機関が顔の見える関係作りを行うため、情報共有を中心に行ったところでございます。次回は2月1日に実務者会議を開催する予定です。

最後にその他と致しまして、ゆいぴあでの施設内連携や各学校からの職場体験やインターンシップの受入れを行いました。サポートプラザからの事業報告は以上となります。

それではのびのび子育てプラザの上半期事業報告をさせていただきます。

親子教室については、月齢の見直しを行いました。以前までは誕生日がきたら月の途中でも参加するひろばが変更になっていましたが、今年度から毎月 1 日現在の月齢で参加するように変更したことで、顔見知りの親子の関わりが増えています。また、あかちゃんスペシャルデーやあそびスペシャルデーを適宜開催しました。大型遊具などを設定し、親子で楽しむ姿が見られ大変好評でした。

子育て講座の「離乳食を一緒に食べよう」は、のびのび子育てプラザの保育士を講師に、実際に離乳食を持参してもらい、みんなで食事をするという内容になっていて、参加した保護者からは他の参加者と悩みを共有できたことや、メニューを参考にできたことが良かったなどの声があり好評の講座です。

7月に開催した外国人親子交流会については、外国人親子 8 組、日本人親子 10 組の参加があり、外国人親子についてはロシアやイギリス、韓国や中国、香港の計 5 カ国からの参加がありました。

転入者交流会については高城町や南吹田、豊津、千里丘など 9 月末までで計 5 回開催し、情報交換ができたことや近所のお友達作りになって良かったとの声がありました。

5月に開催したサークル交流会では、4 サークル 19 名の参加がありました。南千里公園へお散歩に行き、草木や散歩を楽しみながら交流をしました。また、11 月のサークル交流会に向けて実行委員会を 2 回開催しました。

サークル交流室の利用については、のびのび子育てプラザの親子教室に参加していたメンバーでサークルを立ち上げた方もおられました。4 月から 9 月までで 914 人の利用がありました。

一時預かり事業については、新規での利用が増えており、予約率は 4 月から 9 月までで 95.6%でした。充足率も上がっており、86.5%で前年度より 4%上がっています。

また 4 月からは受付時間を午後 4 時から午後 5 時に変更したことで、お迎えに来た時に空き状況の確認ができるようになりました。

ファミリー・サポート・センター事業では、当初からの援助会員の高齢化や会員の転居等に伴い、継続・退会の手続きを進めています。援助会員については、チラシ等を作成し商業施設などにも配架し、周知をしています。

子育て支援コンシェルジュ事業は開始 2 年目を迎え、相談件数が増えています。主な相談は保育園や幼稚園の入園に関するものが増えています。また今年度は「コンシェルジュだより」を発行したこともあり、市民の周知に繋がったと感じています。

11 月 1 日には高野台のびのびルームがオープンし、人形劇サークル花かごによる人形劇イベントが開催されました。毎週金曜日 10 時 30 分から 15 時 30 分までのびのび子育てプラザ相談員が出張相談を行っています。

季節の取り組みとしましては、9 月 29 日に秋祭りを開催しました。今年度は漁をテーマに磁石を使った魚釣りや、箱を船に見立て、親子であそぶ箱ひっぱり等、各部屋で様々なコーナーあそびを設置し、176 組 371 人の参加がありました。職員によるソーラン節も大いに盛り上がりました。

10 月 19 日にはのびのび子育てプラザ運動会を開催しました。月齢別のグループに分かれ、一本橋

を使った遊びやその他にもフープを使った身体あそび、親子でのリズム体操を楽しみました。78組 157人の参加があり、大いに盛り上がりました。

10月13日には離乳食の実習講座を開催しました。8ヵ月から11ヵ月までの子供の子育てをする保護者10人の参加があり、味つけ等参考になったと好評でした。

学校との連携では、ノートルダム女子大学のインターンシップや千里丘中学校の職場体験の受け入れがありました。

傾聴ほほえみは定期的な活動を行うとともに、傾聴ボランティア養成講座として2月～3月にかけて講座を開催予定です。

11月11日にはお父さんスペシャルデーを開催しました。講師を招き、わらべ歌から子育て中のパパに伝えたいことのミニ講座を開催しました。17組 35人の参加があり、わらべ歌を通して子供との関わり方を学ぶ父親の姿が見られました。

それでは、山田駅前図書館の事業報告をさせていただきます。

平成29年度上半期については、貸出件数234,271件、レファレンス件数4,189件でした。

乳幼児や児童を対象としたサービスですが、0歳、1歳向けの「ブックスタートのひろば」、2、3歳向けの「おひぎで絵本」を、ボランティアの方のご協力の下実施しています。また、3回連続講座で1歳児向けの「抱っこで絵本」も行っています。「子どもと本のまつり」は、毎年4月末から1ヶ月かけて、講演会やおすすめ本の紹介、お話し会スペシャルなどを実施いたしました。図書館見学に関しましては、北山田小学校1年生91名が5月27日に来られました。まち探検は、子供達がグループでショッピングセンターや市の施設を探検してレポートを作るというものなのですが、7月6日に津雲台小学校2年生が来てくれました。「夏休み一日図書館員」は、小学生に一日図書館の仕事を経験してもらうもので、三日に分けて15人に参加していただきました。小学校の図書室に読書活動支援者さんがおられまして、新しく採用されてまだ慣れていない方からのご依頼がありまして、5月9日、7月18日に計4校の5名の方がサポートプログラムに参加されました。講師派遣として図書館から出向いて本の選び方などをお話することも行ってございまして、のびのび子育てプラザへは「えほんのひろば」で定期的に行かせていただいております、あかちゃん会にも講師を派遣しております。

続いて青少年対象サービスですが、YAサポーターについては昨年度は、通年で活動していただいていたのですが、皆が集まるのが少ない、期間が長いということで、今年度は夏休みに集中して来ていただくことにしました。中高生4名で、DVDの準備や書架整理など活動してもらいました。また、就労支援でぷらっとる一む吹田の利用者にDVDの準備や書架整理のボランティアをしていただいております。

一般対象サービスですが、のびのび子育てプラザとの連携事業で1歳から4歳までのお子さんを90分間お預かりしてその間に保護者の方に図書館で自由に本を読んでもらう「ひとりのびのび読書タイム」を3回実施いたしました。前回の運営協議会でもご報告させていただきましたが、北摂7市3町広域事業を7月1日より開始いたしました。山田駅前図書館には10月までで71名登録していただきまして、全体の貸し出しの合計は1,567件でした。やはり、近隣の豊中市、箕面市に続き、茨木市の方の貸し出しが多くなっています。

以上でございます。

(会長)

ありがとうございます。皆様何かご質問等はございますでしょうか。

(K 委員)

子ども・若者相談事業ですが、委託先が変わったことによって専門相談員も変わったのでしょうか。

(事務局)

委託先が変わった事業は青少年交流活動支援業務でございまして、子ども・若者相談事業は市直営で行っております。

(K 委員)

子ども・若者支援地域協議会ができて相談も増えてきているのかなと思うのですが、地域協議会の状況がここにある情報ではわからないので、今後もう少し詳しく載せていただけたらと思いました。代表者会議は年 1 回で良いと思いますが、実務者会議はもっと回数を増やしていく想定で実施されていると思いますし、他の青少年活動サポートプラザの事業ともどのように絡めていくかなど、また教えていただけたらと思います。

(事務局)

子ども・若者支援協議会の実務者会議は、今年度の予定では 2 回になっておりますが、他市ではもっと回数を多くされているところもあります。今後協議会の中でも話をさせていただき、関係機関との連携をより密にしていくためにも回数や内容も含めて今後見直しをし、効果的な協議会の運営を目指してまいりたいと考えております。また、青少年交流活動支援業務の関わりについては、2 階には青少年相談、3 階には青少年が過ごす居場所があります。3 階に課題を抱えた青少年がいれば 2 階の青少年相談に繋げるなど、施設全体として支援していければと考えております。そういった連携をより密にできればと考えております。

(事務局)

資料にもございますように、今年 3 月に協議会を設置しまして、たくさんの相談機関が連携して取り組んでいこうということです、それぞれの機関の職員が顔見知りになることからスタートしました。

実務者会議の 1 回目は自己紹介と機関の取り組みの紹介をしていただきまして、2 回目はテーマを絞って、アウトリーチなど具体的な相談の中身に関わるような話ができたらと考えております。まだまだ協議会を府下で設置している自治体が少ない状態ですが、集まっていた機関に何か持って帰っていただけるような場にしていきたいと考えております。

また次回の実務者会議の内容につきましては、この場でご報告させていただきたいと思っております。
以上です。

(事務局)

3階で気になる青少年を2階に繋げるということもありますが、2階で相談を継続している利用者が3階に上がって自由な居場所で活動しています。そこに居場所と相談事業が一体となっている意味があると思っています、2階では「相談を受けている私」ですが、3階では「それ以外の健康な部分の私」としてコミュニケーションを取っていることには大きな意味があると思っています、健康な部分で関われる機会があることは本人たちにとって良いことだと思います。2階と3階の連携は、こちらから進めている部分と同時に利用者も相互に行き来があるということで、補足させていただきます。

(K 委員)

健康的な人と悩みを抱えている人を一体的にみる施設は他市にはほとんどありませんので、うまく利用すればとても良い試みができるのではないかと思います。

(E 委員)

私も2、3人ぶらっとる一む吹田に紹介しています。ひきこもりの方はそれまでもいろいろなところに相談に行っておられますが、ここでの相談員の聴き方が上手でお母さん方が喜んでおられました。お母さんはどのように子どもと接してよいか、わからないのですが、ずいぶん接し方も変わり、効果が出てきて、学校に行けるようになったという話も聞きました。皆さんにもそういった話を知っておいてもらった方がよいと思い、お話ししました。以上です。

(D 委員)

ありがとうございます。

では私から図書館の利用状況で、貸し出し件数はあまり変わっていないように思うのですが、レファレンス件数が半分くらいになっているのは何か理由があるのですか。

(N 委員)

図書館での貸し出しや配架などは業務委託しておりまして、その中で簡単な本の場所などのご質問についてもレファレンスとして従来はカウントしておりましたが、今年度から専門的なもののみをレファレンスとしてカウントするようになり、こうした数字になっております。

(事務局)

もともとのカウントの基準を変えたということですね。

(N 委員)

そうです。

(会長)

他にいかがでしょうか。

次に、議事2「各委員会からの報告及び意見交換について」、図書館フロア委員会、子育てフロア

委員会、青少年委員会の順でご報告をお願いします。

(H 委員)

図書館フロア委員会の報告をさせていただきます。第6期第4回フロア委員会を8月29日(火)に行いました。この日は欠席者が多かったのですが、5人の委員が参加されました。

1の「事業報告及び実施予定事業」については、先ほど事務局から事業報告がありましたので、省略します。実施予定事業の中で、私は11月26日午後2時から3時30分まで行われた図書館講座「じゅずつなぎ 競技かるたの世界 体験しよう!」に参加したのですが、すごく楽しかったです。意外に小学生もたくさん参加されていて、参加者の半数近くでした。講師は20代の女性だったのですが、非常に楽しい講座をしてくださり、子供達も積極的に参加していました。大変よかったですのでここでご報告させていただきます。

それから、今期フロア委員会の最終回でしたので、意見・感想をいただきました。今期でフロア委員会をやめられる二人の方から感想をいただきました。一人の方は長くフロア委員をされていて、少しずつ委員会の内容がわかるようになってきたところですが、少しわかりにくいと思うのは、ここは山田駅前図書館のフロア委員会なので、図書館を主にして考えればよいのか、ゆいぴあのことを考えるのが主なのかということです。前期は図書館の話ではなく、ゆいぴあ全体の記念行事の話が多かったのですが、今期は図書館のことがよくわかってよかったとのこと。もう一人の方は図書館以外にはあまり興味はありません。図書館は大変サービスがよくなりました。昔は職員に些細なことで怒られたりもして図書館は堅いところだと思っていたのですが、今は居心地がよく対応も丁寧で満足していますとのこと。次回の開催は12月10日(火)です。以上です。

(M 委員)

本日、委員が欠席されていますので、私から子育てフロア委員会の報告をさせていただきます。

9月4日に、委員8名、事務局3名でフロア委員会を開催いたしました。

いつも活発に意見が出されておりまして、今回は夏の来館者数が1日当たり平均200人を超える日が多かったことについて、それだけ多かったら、トラブルはなかったのかなというご質問をいただきました。また11時から2時までの間に食事スペースを提供していて、譲り合って使っていただきたい旨のお声かけはさせていただいていますが絶対数が少ないということで、3階のサポートプラザは平日の午前中は人が少ないということをお聞きしましたので、ご案内させていただき、少し混雑は緩和されたということでご報告しました。他には3人のお子さんを連れて来られるお母さんがいらっしゃって、部屋がばらばらに分かれてしまうので、職員がお手伝いさせてもらうのですが、その中でお母さん同士で見てあげたりなど助け合いの場面も見られていて、フロア委員からも良いことだというご意見をいただきました。また、「平和の集い」で、今年は南千里の平和祈念資料館から資料をお借りしてお母さんたちと具体的な資料を見ながら平和について考える機会を持たせていただき、委員からもそういう取り組みは非常に大事なので未来館全体でも取り組んでいけたらよいですねというお話をいただきました。吹田市でも平和週間の取り組みはさせていただいていることをご報告させていただきました。利用されている方の目線でご意見をいただいております、良いフロア委員会になっていると思っております。以上です。

(G 委員)

青少年委員会では、月 1 回会議をしております、9 月から計 3 回会議を行いました。

まず、学習スペース注意喚起の貼紙を設置しました。現在ポスターとチラシを掲示しています。

また、12 月に第 9 回 Whale フェスティバルを開催することが決定しまして、10 月から募集を開始しました。11 月に 9 団体の応募がありましたので、9 団体すべてに出演していただく形で 12 月 25 日に Whale フェスティバルを開催します。現在その準備を行っているところです。ポスターも配布させていただいておりますので、またご覧ください。

以上です。

(会長)

ありがとうございました。只今各委員会から報告いただきました。委員の皆様、ご質問等がありましたらお願いします。

(H 委員)

Whale フェスティバル、開催できることになってよかったですね。この 9 団体は常連さんですか。

(G 委員)

未来館にスタジオがあるので、そこを借りていらっしゃる方は多いのですが、Whale フェスティバルに出られるのは初めての方が多いです。

(H 委員)

だいたいいつも出られるのは初めての方ですか。

(G 委員)

継続的に出られる方もいらっしゃいます。

(H 委員)

中学校の音楽部も参加されているのですか。

(F 委員)

今まではなかったのですが、今後そういった参加も増えていけばと思っています。出演者の中には 3 回連続で出てくださった方もいらっしゃいました。

(事務局)

中学校から出てくださるのは今回が初めてです。高校生のバンドは過去に卒業に向けて連続して出てくださったりもしていましたが、前回までよりも学校への周知を強化しまして、結果中学校からも出ていただけることになり、私どもも楽しみにしているところです。また参加者の中にはお友達を誘ってくださったという団体もあり、出演者自身も皆でこのイベントを盛り上げていこうという空気が

高まっていると感じています。

(H 委員)

持ち時間は自由なのですか。

(事務局)

持ち時間は 30 分で入れ替えの時間が 10 分と決まっていますが、曲数によってタイムテーブルを組ませていただきまして、一団体 15 分から 30 分で 4 時間のプログラムで実施させていただきたいと考えております。

(J 委員)

青少年の年齢制限はされているのですか。

(L 委員)

相談支援は 39 歳までですが、青少年委員会や 3 階の交流支援は 29 歳までです。世代交流の目的で 30 歳以上の方に出演していただいたことありますが、今回は 29 歳までの団体に出演していただくイベントになっています。

(E 委員)

F 委員にお聞きしたいのですが、8 月から交流活動支援事業の委託者が変わりましたが、何か変化はありましたか。

(F 委員)

利用者として、今までのフレンドリーな交流がどうなるかなと思っていたのですが、もともと野外活動をされている団体さんなので、以前と変わりなくフレンドリーに子どもたちと関わっておられるなという印象です。

(B 委員)

図書館の一般対象サービスの「ひとりのびのび読書タイム」について、これは事前に予約が必要なものなのでしょうか。

(N 委員)

こちらは市報で PR させていただいておりまして、そこでお知りになった方が多いです。大変お申込みも多いもので、たくさんの方にご参加いただいております。初めて申し込まれる方を優先させていただいております。今後は市のホームページやのびのび子育てプラザにチラシを置くなどして周知させていただきたいと考えております。

(B 委員)

どれくらい的人数が申し込まれるのですか。

(N 委員)

季節によりますが、1回10組で、20組から多い時で40組ほど申込がある時もあります。

(B 委員)

素敵な取り組みで、連携されていてすごいなあと思いました。

(M 委員)

同じ建物に施設があるので連携しやすいと感じております。ただ、保育をするスタッフの確保が予算の関係で難しく、保育ボランティア2名と職員1名で対応しておりますので、受け入れ人数を増やせないということがあります、皆さん喜んでくださっています。

(B 委員)

どのように周知されているのか疑問だったのでお伺いしました。ありがとうございます。

(N 委員)

アンケートを取らせていただくと、特に市報が多く、ホームページやチラシで周知してもあまり見られていない様子です。他の図書館でも実施していますが、ここはすぐ上のびのび子育てプラザがあるということでたくさんの方がご利用されています。

(事務局)

先ほど図書館フロア委員会から、図書館自体の話をするのか、ゆいぴあの話をするのかわかりにくいというお話しがありましたが、事務局としてはそれぞれのフロア委員会では各施設での活動についてご意見をいただく場と考えております。ただ、5周年記念のような館全体で取り組むような事業に関しては、ここで審議したことを各フロア委員会に下していただいて、そこで何か協力をお願いできないかといった場合もあるかと思えます。

(会長)

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

(K 委員)

先ほど青少年委員会からありました、事業者が変わって野外活動などもされるのですか。

(F 委員)

事業者の方も会議に参加してくれることがあるので、今後支援していただけたらと思っています。

(事務局)

基本的には館内の活動になりますので野外に出る機会はありませんかと思いますが、ちょうど昨日クリスマスの飾りつけや竹を組んでプラネタリウムのドームを作る作業をしております、そこに青少年委員も入って活動し、良い経験ができたと思います。単なる飾りつけだけでなく、竹を切るところから一緒に手伝うという貴重な体験は、この事業者だからこそできたことだと思いますので、今後こうした連携をしていければと考えております。

(事務局)

ちなみに、京都市のユースサービス協会は京都市の7つの青少年活動センターを持っており全国的にもユースサービスの第一線となっているところで、そこで半期に一度ユースワーカーを養成する講習会を行っております、私も講師で関わっております。そこに事業者の居場所スタッフが参加されていて、事業者としても研鑽やスキルアップに努めようとしているということをご紹介させていただきたいと思います。

(会長)

続きまして、議事3「その他」について、事務局から何かございますでしょうか。

(事務局)

それでは、事務局から運営協議会の見直しについて2件のご提案をさせていただきます。

まず、現在、委員毎に異なっております運営協議会委員の任期を統一させていただきたいと考えておりました、来年6月30日に任期満了となります委員が11名と全委員の半数以上となっておりますので、他の委員の任期を調整し、統一させていただく予定でございます。

具体的に申し上げますと、来年6月30日までに任期満了となります委員につきましては、一旦、来年6月30日までの委嘱とさせていただき、再度来年7月1日から2年間委員として委嘱をさせていただきます。また、来年7月1日以降に任期満了となります委員につきましては、任期満了日の翌日から2020年6月30日の期間を委嘱させていただき、これにより全ての委員の任期を統一し、原則として2年間同じメンバーでご審議いただくこととさせていただきます。

なお、公募委員につきましては、現在委嘱しております期間を任期満了までお願いすることとなります。以上よろしくお願いたします。

続きまして、運営協議会の開催回数についてございますが、開館当初は年6回、概ね2か月に1回の開催により創成期の多くの課題を審議していただいております。その後、館の運営も開館時と比べるとほぼ落ち着いてきたことから、現在は年4回、概ね3か月に1回の開催としてまいりましたが、当館も開館から丸7年が経過し、運営も安定してまいりました。そこで来年度から定例会を年3回とさせていただくこととし、運営に対して喫緊の課題などが発生した場合には定例会とは別に臨時会の開催により対応させていただきたいと考えております。

定例会の開催時期につきましては、次回の協議会の次年度の事業計画の中で提案させていただきます。また、これにより各フロア委員会の開催につきましても今後ご検討いただきますようよろしくお願いいたします。

(会長)

ありがとうございました。ただいま、委員の任期と協議会の開催回数について、事務局よりご提案がありました。委員の皆様、ご意見等何かございますでしょうか。

(C 委員)

この運営協議会についての資料を事前にもらっており、チェックしているのですが、質問しないとわからない部分が多々あります。ここで聞くと時間がかかると思うので、事前に疑問点について聞いてもよいのでしょうか。

(事務局)

審議するほどではないけれども内容について聞きたいということがありましたら、遠慮なく事前にお聞きいただければと思います。

(C 委員)

まず、交流活動支援業務の委託事業者が 8 月 1 日に変わりましたというご報告がありましたが、「英語でしゃべらないと」は 3 回と書いてありますが、これは毎週あるということではないのですか。

(L 委員)

こちらは業者が変わりましてから定期的に開催されているのですが、9 月から始まり、週に 1 回、月 3 回のペースで定期的に開催されております。曜日と時間は固定で行っています。

(C 委員)

合計 13 人と書かれていますが、毎回同じ方が参加されているのですか。

(L 委員)

2、3 人、毎回ロビーにいる方で参加されている方がおられます。まだ始めたばかりですので、周知もそれほどされていないところがあり、これから人数を増やしていけたらと考えています。

(C 委員)

それと、のびのび子育てプラザの事業の一時預かり事業とは、どのような事業なのでしょう。

(M 委員)

一時預かり事業は、在宅で子育てをされている方がリフレッシュや育児負担の軽減で一日か半日の単位でお子さんをお預かりして保育をするという事業です。

(C 委員)

最後に、山田駅前図書館では、貸し出し件数が 23 万件となっていますが、これは前年度と比べてどうなのか、また他の吹田市の図書館と比べてどのような数字なのでしょう。

(N 委員)

前年度の蔵書回転率として、100 冊が年度中に何回借りられたかというもののなのですが、図書館全体でいきますと 3.09 回となっており、山田駅前図書館は 4.47 回となっており、5 番目の回転率となっています。回転率は、江坂、千里丘、北千里、千里、山田駅前図書館という順番になっていて、書庫が大きくお目に触れないところが多くなる中央や千里山・佐井寺図書館は回転が悪くなっております。山田駅前図書館は、3 階に青少年、1 階に子育て世代の方がいらっしゃいますので、より多くご利用いただければと考えております。

(C 委員)

図書館全体の運営の問題なのか、建物の構造上、出入り口の場所や返しにくいから借りないなどいろいろ考えられるのではないかと思います。これだけの施設ですので、一番回転率がよければ図書館がここにある価値は高いと思うのですが、5 番目ということですので、利用していただける何らかの方法を考える必要があると思います。

(N 委員)

吹田市の図書館の中でも駅に一番近い図書館ですので、地下にあることをもっとアピールできればと思います。

(C 委員)

それは館内の問題ですか。

(N 委員)

はい。

(C 委員)

それは改善できますよね。

(N 委員)

はい。1 階や 3 階にわかりやすく掲示させていただくとか、1 階の外からの直結階段に「こちらが図書館です」という掲示をしていたのが風雨にさらされて落ちてしまいましたので、それもきれいにし改善させていただきたいと思います。

(C 委員)

図書館があることを知らない人もいると思います。私は中央図書館をよく利用しますが、近くに公園があるという条件がたまたま整っているの、そこに行って読んだりしています。それはたまたまなのでしょうが、ここにはここでできる工夫があると思います。取っておられるデータを活かす方法があると良いと思いました。また、館の中と外とでは雰囲気も全然違うので、中にいても外で読んでいるようなイメージが描ける館にすれば、例えば鳥の声が聞こえたり、風が吹いてくるといったよう

な環境に目を向けておられるのかどうかということもお聞きしたいと思いました。そういったことをこの会で言うべきか、個別で言うべきかわからなかったので、今お話しさせていただきました。以上です。

(D 委員)

今のようなお話しでしたら、この場で言うていただくのはよいと思います。それで他の委員の方も触発されて発言されるということも出てくると思います。

(事務局)

今、回転率のお話しだけされていましたが、貸し出し件数も全館の中で 5 番目なのかなとか、山田駅前図書館のゲート通過数はどうなのか、要するに借りなくても本を読んでいる方はおられますので、利用者数というものはいろいろな捉え方があるのかなと思っています。また、その辺りのことも含めて分析し、次回に図書館からご報告いただけたらよいのではないかと思います。

(K 委員)

年齢なども含めて、データがあれば出していただけたらと思います。資料が配布されて質問があった場合には、その質問とそれに対する回答を協議会の場で用意してもらえたら、時間も有効的に使えるのではないかと思います。

(事務局)

わかりました。

(J 委員)

今お話しを聞いていて思ったのですが、読書室はあるのですか。

(N 委員)

あります。

(J 委員)

でしたら、鳥の声が聞こえる読書室があってもおもしろいなと思いました。

(N 委員)

光庭というものがございまして、4 席ほどのテラスになっており、地下でも外の光が差し込むようになっています。季節の良い日にはご利用いただけます。フロア委員会からもそこを PR してはという意見がありまして、貼り紙をしています。

(会長)

事務局からありました、委員の任期の件と協議会の開催回数の件については、何かご意見あります

でしょうか。

今後は任期がずれる場合には前にそろえるということですね。

それでは、議事4「次回の開催日程」にまいります前に、私の方からご報告させていただきます。

委員の任期につきましては、先ほど事務局からの説明の中でもございましたが、開館以来、長きにわたりご意見を賜ってまいりましたO委員が来月12月31日をもって任期満了となられ、今期をもちまして、委員をご退任されることとなりました。本日はあいにくご欠席ですが、この場でご報告させていただきます。

では議事4、次回の開催日程について事務局よりお願いします。

(事務局)

運営協議会は概ね3ヶ月に1回開催されております。つきましては、次回の開催を来年2月の第3、4週目の15日(木)から21日(水)までの17日(土)、18日(日)を除く日での開催で考えておりますが、皆様のご都合はいかがでしょうか。

(会長)

それでは、次回の会議は平成30年2月19日で開催したいと思います。

(3) 閉会

(会長)

本日は以上になります。副会長、閉会の挨拶をお願いします。

(副会長)

本日はお忙しい中ありがとうございました。お疲れ様でした。